

北アルプス：槍ヶ岳集中山行 槍沢コース

◆日程 2023年9月16日(金)～18日(月)

◆メンバー L：KT、NO、NI

9月16日(土) 天候：曇り時々晴れ一時雨

槍集中の皆さんと早朝に集合し、北鎌組の皆さんと別れ、槍沢組は朝6時過ぎに上高地バスターミナルを出発。私自身、北アルプスというものの自体、今回が初めてだったため、これから始まるドラマがどんなものだろうと、非常にワクワクしていた。

この日は約15kmと、比較的長い道となっていたが、全区間おおよそ平坦な道だった。しかし、この約10数kmの平坦な道を、ひたすらテント装備の入ったザックを担いで歩くものだから、地味に疲労が蓄積した。それでも、ほとんどの区間で梓川や沢、焼岳など風光明媚な景色を眺めながらの山行を楽しんだ。

夕方は、NOさんが用意してくださった、ペンネとツナの Pasta、そして麻婆丼を堪能し、急に降り出した大雨の中、早めに明日に備えた。なお、翌日の登りは、この日の比較的平坦なハイキングからは想像のつかない道となる。



ちなみに、今回私が

スリーピングマットを忘れるという失態を犯してしまったのは反省点。寝る方向とは垂直に置く形で、KTさんとNOさんがマットを貸してくださり大変助かったが、当日の天気ばかり気にして山行計画書に書いた準備品のチェックをおろそかにすることはないようにしようと思った。(記：NI)

CT：上高地 6:20 - 明神館 7:05 - 徳澤園
8:15 - 横尾-9:00 - 槍沢ロッジ 10:50 - ババ平 11:50

9月17日(土) 天候：晴れ

“登山に興味を持ち始めた人で、まず槍ヶ岳の頂上に立ってみたいと願わない者はないだろう。”正に今日、その願いが叶うのである。ババ平のキャンプを暗いうちに出て、そこを目指す。が、一向にそこは見えてこない。途中、岩清水が湧いている場所があって喉を癒した。とても冷たく体に染み渡る。気持ちも新たに登り始めると、やっとのことで姿が見えた。やはり、“三千米を越える高さと言い、颯爽とした鋭い形と言い、わが国の山の中で最もユニークな存在である。”「あっ、槍が見えた！」と一気にテンションが上がる。途中、開山の祖である播隆が念仏修行をしたという岩小屋にお辞儀をし、殺生ヒュッテに到着。北鎌組のテ



ントを見つけて、我々も根拠を定めた。さて、いざ頂上へ。

幸い晴天に恵まれ、下りてくる人皆が「もう少し！頑張っ！今日は眺望最高ですよ！」と声をかけてくれる。気持ちは逸るが、槍ヶ岳山荘から見上げた頂上までには、多くの人が蟻の様に列をなしていた。約2時間。だがその間、これまで登ってきた道程や、左手の美しい常念岳、正面の穂高に連なる尾根、右手の笠ヶ岳、と素晴らしい景観が全く時間を忘れさせてくれた。山頂到着は概ね正午。多少ガスが出て北方の景観は多少遮られていたが、3人で記念写真をパチリ。山頂での滞在時間もほどほどに、登ってくる人達に多少先輩面をしながら下山する。



殺生ヒュッテまで降りて、何度も槍を見上げる。開放感からついつい酒がすすみ、関西から来たという隣の登山者と意気投合。だいぶ出来上がったところで北鎌組の5人が降りてくる姿を見つけ、おーいと大きく手を振った。（記：NO）

CT：ババ平 5:00 - 殺生ヒュッテ 8:40/9:30 - 槍の肩 10:20/10:30 - 山頂 12:00 - 殺生ヒュッテ 13:30

9月18日（月）天候：晴れ時々雨

槍ヶ岳集中3日目、3時起床、テントから出ると満天の星空だ。今日は上高地までの長い道のりではあるが、下山のみということで心なしか気持ちは楽である。朝の食当 OT さん特製のへぎ蕎麦は美味でどの越しもよく、山行3日目の山の朝ご飯でも美味しく食すことができて優れものだった。山で蕎麦食は初めてだったが、参考にしようと思う。テントを手早く片付け、予定出発時刻5時よりも20分前には殺生ヒュッテを後にした。東に向けて下山路を進む。星空の東端は白々と明るくなり、八ヶ岳、南アルプス、富士山がうっすらと姿を見せる。

振り返ると、夜明けを槍の穂先で迎えようとしているのか、チラチラとヘッドンの電気が槍の岩場にとりついている。槍の先や穂高方面は間もなくモルゲンロートを迎えようと、少しずつ赤く燃え始めている。そんな素晴らしい光景のなか、順調に高度を下げて行く。

風もなく、暑くも寒くもない、心地よい下山路だ。ババ平を過ぎて槍沢ロッジで一息入れてからが長く、ようやく横尾に着いた。改めて思うが、たいらなところを歩いていると、ザックの重みがいつもに増してのしかかってくる。上高地に向けて、とにかく長い・・・



徳沢でソフトクリームを食べて糖分と甘味を摂取、生き返る。

3連休で観光客、登山客、ハイカーでごった返す上高地に皆、無事に下山。

3日間、ほぼ天候に恵まれて事故もケガもなく、それぞれの目標を果たすことができた充実の槍ヶ岳集中山行にすることができた。（記：KT）

CT：殺生ヒュッテ 4:40 - ババ平 6:40-横尾 8:40-徳沢 10:00-上高地 11:00

